



## 家族で美味しく楽しく“旬”なイベント ~ 区内の畑を巡り収穫体験 野菜ウォークラリー開催

と き	6月27日(土) 午前10時~正午	ところ	関町南・立野町の2カ所の畑
-----	-------------------	-----	---------------

27日、練馬区関町南・立野町の畑で、区内の農家と交流しながら農作物を収穫する「野菜ウォークラリー」が開催され、親子連れなど36組100人が参加した。

同イベントは、23区で農地面積が最も広い練馬区が、農家とのふれあいを通して都市農業への理解を深めてもらおうと、JA東京あおばと区内農家の協力で平成2年に開始。身近な畑で新鮮な野菜収穫を体験できると評判で、毎回応募が殺到する大人気イベントである。

区の担当者は、「新鮮な練馬産野菜のおいしさを家庭の食卓で味わってもらってはもちろんのこと、生産者との交流や、収穫体験を通じて、都市農地の大切さを知ってもらいたい」と話す。

この日、参加者は、地元を散策しながら、2カ所の畑を訪れ、とうもろこしやじゃがいも、枝豆など、旬の野菜の観察や収穫を楽しんだ。



土の中から出てきたのは...  
人間の足のようなニンジン!



両手で抱えないと持てないほど大きな大根



とうもろこしの採り方の説明を聞く参加者

(写真右手前が生産者)

### 【枝豆、ニンジン、とうもろこしの収穫に 子どももお父さんも大興奮!】

最初の畑では、農家の方から収穫の仕方を教わった後、枝豆、ニンジン、とうもろこしを収穫。とうもろこし畑に初めて来たという参加者も多く、自分の身長よりも高い位置にあるとうもろこしに、驚いた様子の子もいた。人間の足のような形をしたニンジンを探り当てた6歳の女の子は「面白い形のニンジンが土から出てきてびっくりしたけど嬉しい! どうやって食べようかな」と笑顔で話してくれた。

指導した農家の方は、「野菜は鮮度が大切。採ったばかりのとうもろこしは生で食べられます」と説明し、その場で食べた参加者からは「初めて生のとうもろこしを食べました。とても甘くておいしいです!」と話してくれた。

### 【土の中の宝探し!? じゃがいも、青首大根を収穫】

次に訪れた畑では、じゃがいもと青首大根を収穫。土の中のじゃがいもを泥だらけになって探したり、大きく育った大根を悪戦苦闘しながら引き抜いたりする親子の姿が見られた。

親子3代で参加した塚本さんは、「孫に土と触れさせたいと思って参加しました。区がこのような機会を設けてくれるのはありがたいです」と話してくれた。